

第 11 回ロングライフ・ベストセラー賞を受賞

JTEKT Received 11st Long-Life Best Seller Award

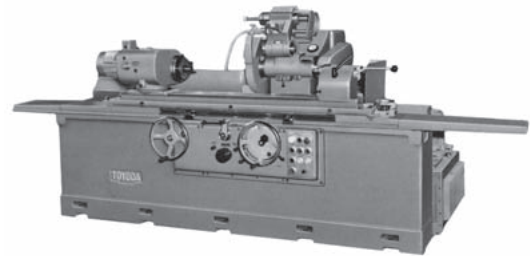
2009年6月2日、日本工業大学学友会ホール（埼玉県南埼玉郡宮代町）において、当社の油圧式円筒研削盤 LG シリーズ（G28 形、G15 形、G30 形）が「歴史的価値のある工作機械を顕彰する会」（日本工業大学工業技術博物館、同後援会主催）の第 11 回ロングライフ・ベストセラー賞を受賞した。

本顕彰は、日本製の工作機械（技術提携機種は除く）で、製造されてから 10 年以上経過した機種を対象とし、一時代を画したエポックメイキングな工作機械に対する顕彰（ベストテクニカル賞）と、長年にわたってベストセラーを続けた工作機械に対する顕彰（ロングライフ・ベストセラー賞）があり、これらを製造した企業または個人に贈られる。当社としては 2004 年の第 6 回ベストテクニカル賞を受賞した GCA 形カム研削盤（1965 年に開発）に続き 2 度目の受賞となる。

当社は国産化技術による国際競争力のある研削盤を目指し、1965（昭和 40）年より TOYODA 研削盤と名付け独自開発による研削盤の製造を開始したが、この初期モデルとして一翼を担ったものが今回の受賞対象機種である。G28 形、G15 形、および後に発表した G30 形を併せて LG シリーズと呼び、13 年間で 3 103 台を製造した。

「LG シリーズ」の名前は、世界で初めて実現した研削盤用組立コンベアラインで生産していることに由来し、Line production system の「L」と Grinding machine の「G」を組み合わせたものである。今日でも、このコンベアライン上で後継機種を生産しており、受賞対象機種も含めると世に送り出された台数は 8 000 台を超えること、また 40 年以上経過した今でも現役で稼働していることが高く評価された。

1990 年以降、繰返し生産における精度安定化を目的として研削盤の CNC 化が進展し、油圧式円筒研削盤の生産台数は一旦減少する。このような状況下でも、多品種少量生産領域における油圧式円筒研削盤 LG シリーズの使い勝手の良さには根強い人気があり、お客様にご好評いただいていた。現在でも日本のモノづくりを支える中小企業、試作を専門とする会社や工場向けに年間 60 台～100 台納入しており、TOYODA 研削盤の主要製品として位置付けられている。



油圧式円筒研削盤 LG シリーズ
G28 形（1965）



受賞の盾



守友顕彰する会会長と横山社長